



こんにちは！ 日本共産党の 小山ゆりえです

誰もが住みたくなくなるまち滑川 〜「県で人口増・成長力がトップの町」に学ぶ〜

県下一の人口増・成長力の滑川町（なめがわまち）の町長、共産党員の蔵市長、自民党から共産党まで推薦をもらい当選した草加市長。3人の首長の市政運営について聞く機会を得ました。今回は滑川町についてご報告します。

子育て世代の人口増が顕著

滑川町の人口はこの12年間で38%も増加しており、顕著なのは25歳から45

歳の子育て世代の比率が、他の自治体に比べて高いことです。「福祉」「教育」「環境」「平和」を4本の柱に、住民と行政が力を合わせて町の未来を育てていくことを大切にしています。

しかし、他の自治体でも同様の項目を掲げ、取り組んでいます。ではなぜ人口増・総生産の成長力がトップなのでしょう？



日本共産党蓮田市委員会子ども・環境対策責任者 船橋ゆき子

「教室にエアコンつけて！」子ども達から要望・期待の声

市議補選は力及ばず次点で、応援いただいた皆様には大変申し訳なくお詫び申し上げます。さらに勉強し、皆さんのご意見をお聞きしながらがんばって参ります。

が起きました。街頭演説で会う小学生や親御さんからも「教室暑くて、具合悪くなる子が毎年いるよ。」「扇風機じゃ全然役に立たない。熱中症が心配。エアコンつけて！」という声がたくさん寄せられました。

選挙期間に寄せられた意見で、多かったことのひとつが普通教室へのエアコン設置です。下校途中の中学生から「エアコン！エアコン！」とエアコンコール

私が生かすの頃とは違い、近年の暑さは命に関わることもあります。体調を整えて勉強に集中できるように、普通教室へのエアコン設置は急いで進めてほしいことのひとつです。



【滑川町のホームページより】

子ども医療費は18歳まで、給食費は

幼稚園・保育園から中学校まで無料施策を見ていると、子ども医療費は18歳を迎えた最初の3月31日まで無料で、給食費は幼稚園・保育園から中学校まで無料です。また、里山の景観の再生や体験交流施設を整備し、農業体験事業、農家レストランの経営なども行っています。様々な施策を積極的に行っていることが大きな要因だと思いました。

蓮田市にどう活かしていくか

蓮田市をふり返ってみますと、「地の利」があります。緑豊かな環境もそろっています。積極的な施策を展開するならば必ず発展する、未来がある街になるはず

滑川町は今後、「健康」を加えて5本の柱として取り組んでいくそうです。どんな施策を展開してくれるのか注目したいと思います。
(小山ゆりえ)

集団的自衛権を問う Q&A

「憲法違反」とされてきた集団的自衛権行使を安倍首相は閣議決定で覆し、武力行使に道を開こうと急いでいます。政府の説明の内容を考えてみます。

Q “親しい友達が強盗に襲われたら助けるのは当然。集団的自衛権もそれと同じ”（石破氏）と言うけれど？

A 政府が“友達”という米国は世界最強の軍事超大国。他国に力で介入してきました。これまでに行使された事例でも、米国や旧ソ連など軍事大国がベトナムやアフガンなど小さな国に攻め入っている例がほとんど。米国のおこす侵略戦争に日本が加担させられ、日本の若者が血を流すこととなります。ベトナム戦争に加担した韓国はのべ31万人が参戦し5000人近い戦死者をだしました。



まずは穴をあけて…と
ウルシ・ヒビ
【しんぶん「赤旗」より】

軍事大国の侵略への加担に

Q 「必要最小限」「後方支援」なら武力行使はないのでは？

A アフガン戦争で英国などのNATO（北大西洋条約機構）諸国は直接の戦闘行為ではない兵站活動で合意。“後方”支援から出発して、しだいに軍事作戦と一体化し各国の死者は1031人にのびりました。「必要最小限」の線引きなど不可能なのが軍事行動の常識。参戦に最小限はありえませんが。

Q 集団的自衛権を行使しないと日本は危ういの？

A まったく逆です。日本が戦争への備えを強めるほど周辺国は警戒し、軍事力を増強します。戦争では問題が解決できない。この認識は世界の流れです。軍拡競争でアジアの緊張を高めるのではなく、日本は憲法9条のもと武力によらない国際秩序づくりの先頭にたつべきです。

かえって戦争の危険高める

後方支援も攻撃対象

「安倍内閣の教育政策に
どう立ち向かうか」

「9条の会」講演会が開かれました。5月25日（日）、「はすだ9条の会」主催で教育学者の藤田昌士氏を講師にむかえ、安倍内閣の教育政策についての講演会を、蓮田市図書館視聴覚ホールに35名が参加して開催されました。



参加者の永田美枝子さん（黒浜）は「この間、教育委員会制度がこわされてきた。このままだと政府の思うようになってしまうと、危機を感じました」。また小澤光子さん（笹山）は「毎日の生活の中で日本の方向が変えられていってしまう。孫たちのためにも、おかしいなと思ったことは発信していかないといけない」と感想を述べてくれました。

編集後記

埼玉県の良いところは「自然災害が少ないところ」と思っていたら、昨年あたりから竜巻、積雪に続いて豪雨も発生しています。地球温暖化を何とかしないと！（K）



日本共産党黒浜支部・後援会

検索